

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・購買の際、カウンターに置かれている商品も、更に加えて購入する例が増えている。 ・3月の稼働率は前年同月比で6、7ポイント上がる見込みで推移している。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・全国的には一年延長された住宅ローン減税の影響で年内の建築を希望する動きが活発であるのに対し、県内での動きはまだ鈍い。しかし、今後は少しずつ動きが出てくると予想される。
		住宅販売会社（従業員）	・全国的には一年延長された住宅ローン減税の影響で年内の建築を希望する動きが活発であるのに対し、県内での動きはまだ鈍い。しかし、今後は少しずつ動きが出てくると予想される。
	変わらない	スーパー（経営者）	・販売件数は前年を上回っているが、客単価の下落が依然として続いており、競合店との競争等もあることから、今後もしばらくはこのような状況が続く。
		スーパー（企画担当）	・BSE、鳥インフルエンザ等、食に対する不安等もあり、部門によって動きが悪いところと好調のところとに分かれているので、食に対する不安がなくなる限り、しばらくはこの状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・BSE、鳥インフルエンザ等による食肉への不信感はぬぐえないが、その影響でその他の食材の売上が伸びてくるので、総体的な落ち込みは少ないと予想される。
		家電量販店（副店長）	・購入の際、競合店と比較する傾向が強く、依然として客は購買に対して敏感である。
		乗用車販売店（総務担当）	・客のニーズに合う商品に乏しい。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客が好調であることで現状維持の状態が続いてはいるが中心商店街は少しずつだが確実に衰退してきている。専門店の減少や若い人の往来が減っている。観光客を対象とする土産品店の店舗数や規模が拡大し、競合しており、しかし並んでいる商品は同様の品揃いであることから、その中で価格競争が激化している。
旅行代理店（経営者）		・鳥インフルエンザ等による近場の海外旅行の不振はしばらく続き、県内景気も旅行社業界からみると若干まだら模様に移りつつある。	
観光名所（職員）		・自衛隊のイラク派遣によるテロ発生の可能性、SARS、鳥インフルエンザの発生等、旅行環境は、ここ2、3か月間は変化しない。それに伴い県内への入域観光客も前年同月比で減少傾向が続く。	
ゴルフ場（経営者）	・客単価を下げて集客すれば、前年同月比で来客数、売上額ともに伸ばすことは可能である。しかし、その分、同業他社に影響が出てくる。この構図は過去10年間変わっていない。		
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・BSE、鳥インフルエンザ等の問題が長引けば、売上に確実に影響してくる。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・今年に入り、もう既に同業者の閉店があり、周辺店の厳しいという話もよく聞かれる。 ・都心以外の周辺店舗の閉店が目立ってきており、大型店の影響から厳しい状況になっている。	
	悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・4月からの総額表示に備え、メニューの改正をしている中で、BSE、SARS、特に鳥インフルエンザの影響は大きく、食材の値段の高騰が追い打ちをかけている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（従業員）	・弊社が設立時よりこだわり続けているオープン・ソースに関して、色々な形で取り上げていただけるようになってきた。講演依頼なども増えており、業界はもとより国家レベルでオープン・ソースへの取組が本格化するものと期待している。
	変わらない	建設業（経営者）	・問い合わせ及び成約件数は増えたが、単価は下落し、総金額は横ばいであり、先が読めない状況である。
		輸送業（総務担当）	・引っ越し、入学シーズンで県内外の荷動きが活発になる時期だが、就職難の影響等で去年並か、それ以下になる。 ・また、牛肉の輸入制限や禁止等で、2月以降の荷動きが懸念される。
	やや悪くなる	不動産業（支店長）	・景気が好転する要素がなかなか見当たらない。
悪くなる	-	-	
雇用	良くなる	-	-

関連	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き、求人数の増加傾向がみられるのと同時に、求職者の動きも活発になってきており、マッチング率の向上がみられる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在、観光関連の仕事が発生したり、また単発の派遣依頼もあるものの、契約終了の申出も出てきているため、状況としてはあまり変わらない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は2,687人で前年同月比12.1%増加している。これは、求人増に伴うパートタイム求職者25.5%増及び県外希望の求職者11.4%増が主な要因となっている。特に事業主都合離職者及び在職者が増加傾向にある。 ・新規常用求職者2,454人の年齢構成をみると、30歳以下の若年者が41.8%を占め、前年同月比で4.3%増となっている。 ・45歳以上の中高齢者は4.0%増となっており、各年齢層で求職者が滞留し長期化している。このようなことから、雇用の面でまだまだ厳しい状況が続く。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・年が明け、全般的に求人掲載依頼の数が減少している。特に飲食関連店舗のホールスタッフ、アルバイトで20歳以上の求人を出すと、問い合わせもなく、高校生可にすると、10～15名の応募があるとのことで、成人の募集が厳しくなっている。
学校〔大学〕（就職担当）		・ほとんどの企業の決算月は3月であり、県内企業は設備投資の低迷で観光関連以外は、厳しい状況に移行し、求人状況にも影響する。	
	悪くなる	-	-